

《山火事防止》

山火事は貴重な森林を一瞬のうちに消失させる災害です

これからゴールデンウィークを迎え、ハイキングや山菜採りなどで山に入る機会が増えると思います。休憩中に一服…‘何気なく捨てた1本のたばこ’。でも、それが取り返しのできない大きな山火事につながる可能性があります。山火事の怖さは、火の粉が飛散し同時多発的に着火延焼すること、延焼スピードが速いこと、消火活動が困難なことが挙げられます。山火事は延焼しやすく消火しにくい火災であり、大規模な火災に発展して地域社会に甚大な影響を与えることから、山火事を発生させないことが最も大切です。

一人ひとりの力を合わせ、恐ろしい山火事を防ぎましょう。



山火事を防ぐポイント

- 火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火
- 空気が乾燥している時や強風時はたき火、火入れはしない
- 喫煙は指定された場所で行い、吸殻は必ず消し投げ捨てない！
- 火遊びの禁止

「忘れない 山への感謝と 火の始末」

平成24年全国山火事予防運動統一標語

～消防車の紹介～

災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（車両名：ひたちおおみや1）



この車両は、東消防署に配置されていて、火災の初期段階に必要な消防用水（1,500ℓ）を積載しています。水を積んでいることから、通称「タンク車」と呼ばれています。火災の直近に配置し、消火栓や防火水槽などの水利を利用しなくても、素早く消火活動が行える車です。積載されている機材は、ホースが40本、ホースの延長に使用する電動ホースカーや空気呼吸器、約9m伸長できる三連梯子、排煙機など、消火活動に必要なたくさんの機材が積載されています。また、「緊急消防援助隊・消火部隊」に登録されていて、大規模災害が発生し出動要請が入れば全国へ派遣されます。

積載機材の例

